

平成23年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

平成24年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づき、平成22年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

平成24年 2月20日

田原本町教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会	3
点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	4
・ 小・中学校教育の推進	6
・ 障害児教育の推進	8
・ 学習体制の充実	10
・ 生涯学習環境の充実	12
・ 図書館事業の充実	14
・ 文化活動の促進	16
・ スポーツに親しむ環境の整備	18
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	20
・ 生涯スポーツの推進	22
・ 文化財の保存整備体制の充実	24
・ 歴史遺産の活用	26
・ 郷土愛・文化財愛護精神の育成	28

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第3次総合計画」第2章「人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成22年度です。

(1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況

(2) 「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(13施策)

3 点検・評価の方法

「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	大 西 宏 興	学識経験者(教職経験者)
委 員	北 田 全 克	学識経験者(行政経験者)

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(平成23年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
委員長	川本 益弘	無職	H16.12.23	H24.12.22
委員	森 章浩	団体役員	H21.12.24	H25.12.23
委員	里見 大聞	僧侶	H15.12.22	H23.12.21
委員	後藤田 和子	無職	H21. 3. 2	H23. 9. 21
委員(教育長)	片倉 照彦	公務員	H22. 9. 8	H25. 3. 31

2 教育委員会議の開催状況

- ・定例会……10回
- ・臨時会…… 2回

3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……21件
- ・審議事項……22件

4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……近畿市町村教育委員研修大会(貝塚市)・奈良県市町村教育委員研修大会・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	

1. 施策概要

めざす 成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、保護者の経済的負担を軽減することにより、多くの幼児が充実した幼児教育を受けることができ、保護者も経済的な不安を感じないで通園させることができる。
施策概要	幼児教育環境の整備。就学前教育の推進。安心・安全な幼児教育の創出。幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
公立・私立幼稚園就園率	%	60	60	60	60	60
対象年齢者に対する公立・私立幼稚園の園児在籍率		59				
(説明)						
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
幼稚園運営事業	教育総務課	233,453	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	7,569	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	1,988	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		243,010			

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている ● B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている ○ C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい</p> <p>幼稚園の就園率については、毎年60パーセント前後で安定的に維持できており、一定の成果はあげていると考えられる。また、3歳児保育についても定着してきており、一定の成果があがっていると考えられる。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>● A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある ○ B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない ○ C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>今後も、子育てに悩む家庭が増加し、幼稚園の果たすべき役割が大きくなると予想される。いっそう開かれた幼稚園づくりを推進し、家庭の要望や地域の実態に応じた積極的な子育て支援が必要である。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>子どもの数の減少や、社会ニーズの大きな変化を背景に、就学前の幼児教育のあり方の見直しが求められている。今後は、官民の役割分担、地域特性、投入コストの観点からそのあり方を見直し、さらに、充実した事業展開が必要である。</p>

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他（現状の水準を維持する）</p>				
	<p>子どもの数の減少傾向が続くなか、幼稚園教育要領に基づく標準的な教育の提供に努めるだけでなく、より質の高い幼児教育の確保に努めていきたい。施設面については、安全で快適な幼稚園運営のため、施設の老朽化の改善、特に遊具については、安全点検の徹底及び維持補修を実施していきたい。</p>				
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<p>事務事業名</p>	<p>H22年度 決算 (単位:千円)</p>	<p>H23年度 予算 (単位:千円)</p>	<p>優先性</p>	<p>H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</p>
	<p>幼稚園運営事業</p>	<p>233,453</p>	<p>230,419</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>幼稚園施設管理整備事業</p>	<p>7,569</p>	<p>7,531</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>幼稚園教育振興事業</p>	<p>1,988</p>	<p>2,315</p>	<p>3 普通</p>	<p>現状のまま</p>
	<p>計</p>	<p>243,010</p>	<p>240,265</p>		
<p>内部評価のコメント</p>	<p>保護者が安心して子育てが行えるような施策の推進 及び 幼稚園における保育時間の延長や保護者の子育て不安に対応する相談機能の充実など地域の実情や保護者のニーズを踏まえた多様な就学前教育環境の整備を図る必要がある。</p>				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>時代の変化と共に、就学前教育としての幼稚園の担う役割がますます大きくなってきている。地域の実情や保護者のニーズを踏まえた幼稚園の教育環境の整備を一層進める必要がある。</p>				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒及び保護者にとっても、安全で安心できる学校に通学することにより、確かな学力の定着を図ると共に、体力を向上させ、心豊かな人間性を育む。
施策概要	教育環境の整備。職業観や人生観の醸成。教育体制の確立。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
学校施設の耐震化率	%	67	74	81	93	95
強度を確保している学校施設の割合		67				
中学生の職場就労体験日数	日	3	3	3	3	3
中学生の職場体験学習の就労日数		3				
小・中学校へのALT(外国語指導助手)の派遣日数	日	254	286	286	286	286
小・中学校へのALT派遣日数		249				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校運営事業	教育総務課	95,880	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	109,673	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	48,266	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業	教育総務課	8,239	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業	教育総務課	7,003	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	42,912	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	41,680	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業	教育総務課	3,698	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業	教育総務課	5,436	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)[ALT派遣事業]	教育総務課	6,470	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		369,257			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい 児童・生徒の学力向上を目指し基礎・基本の学習に取り組んでいる。引き続き一人ひとりを大切に学習を進める。また、耐震化工事に関しては、学校施設耐震化計画によりほぼ順調に工事を施工している。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 全国平均を大きく下回っている体力の向上を図るため、運動する機会を確保するとともに、食育を推進する必要がある。また、児童・生徒が一日の大半を過ごす学校校舎の耐震化工事に関しては、東南海・南海地震防災対策推進計画に基づき大規模な地震の発生を予測して、学校施設耐震化計画を予定どおり施工している。
施策を進める上での問題点・課題	社会状況の変化に伴い、児童生徒の基本的な生活習慣が乱れる傾向にある。耐震化工事に関しては、施工に多額の工事費が必要となるため、財源の確保が課題となる。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
施策を進める上での問題点・課題	田原本町教育委員会が策定した「学校教育の指導方針」の趣旨にそって、未来を切り拓く「確かな学力」の育成と「豊かな人間性」の涵養、これを支える「健康でたくましい心身」を重点目標として掲げる。さらに、各園・校において「感謝の心でいきいきあいさつ、正々堂々と生きる子どもたち」の育成を目指し、組織的で計画的な取り組みをすすめる。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校運営事業	95,880	99,726	3 普通	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	109,673	122,428	5 最優先・緊急的	拡大
	学校給食事業	48,266	53,862	3 普通	現状のまま
	小学校教育振興事業	8,239	18,794	3 普通	縮小
	小学校サポート体制支援事業	7,003	6,780	3 普通	現状のまま
	中学校運営事業	42,912	45,288	3 普通	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	41,680	11,903	5 最優先・緊急的	拡大
	中学校教育振興事業	3,698	4,558	3 普通	拡大
	中学校サポート体制支援事業	5,436	5,935	3 普通	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	6,470	7,570	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	369,257	376,844		
内部評価のコメント	「確かな学力の育成」「豊かな人間性の涵養」「健康でたくましい心身の育成」を指導の重点とし、児童・生徒の発達段階をふまえたうえでの個々の発達に応じた適切な指導を展開し、学校教育全体の充実を図っている。また、耐震補強工事の実施により、子どもたちが安全・安心な環境の中で生活することができるとともに、災害時の避難場所としての機能も十分に発揮することができる。				
外部評価委員のコメント	次代を担う社会人として必要なたくましいからだ心を鍛え磨ける教育環境を整え、教職員の質的向上と人員確保に努め、児童生徒の発達段階に応じた適切な指導を展開して頂きたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	障害児教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、広汎性発達障害(PDD)等も含めて、障害のある幼児・児童・生徒がいまいきとした学校生活を送り、一層の自立と社会参加を促す。
施策概要	幼児・児童・生徒に対して個々の発達に応じた適切な教育の推進。就学の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
特別支援教育コーディネーターの学校配置率	%	100	100	100	100	100
		特別支援教育コーディネーターの小・中学校配置率	100			
特別支援教育支援員の学校配置率	%	100	100	100	100	100
		特別支援教育支援員の小学校(5校)への配置率	100			
障害のある児童・生徒の就学率	%	100	100	100	100	100
		障害のある児童・生徒の就学率	100			

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	874	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	273	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		1,147			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい 磯城郡就学指導委員会では、教育・医学・行政の専門家が検討し、総合的な判断を行っている。保護者にとって幼児・児童・生徒の障害の程度を基に適切な教育環境を考える判断材料となり、適正な就学につながっている。就学奨励費については、特別支援学級に在籍する児童・生徒に必要な経費の負担軽減に一定の成果を上げている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 障害のある幼児・児童・生徒の適正な就学を推進するために、各分野の専門官から構成される就学指導委員会は重要な役割を果たすものである。また、就学奨励費については、保護者の経済的負担の軽減のため必要不可欠である。
施策を進める上での問題点・課題	一人ひとりの教育的ニーズを把握するなど、適切な支援を行うための体制整備等が課題となっている。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	特別支援教育において、就学前から義務教育終了までの一貫した教育体制の構築を目指す。なお、就学援助に関しては、さらなる事務の効率化と適正な援助に努めていく。				
	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	小学校教育振興事業(一部)	874	1,271	3 普通	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	273	326	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	1,147	1,597		
内部評価のコメント	障害のある幼児・児童・生徒の就学先を判断するにあたり、就学指導委員会を開き、専門的分野からの相談・指導・調査・判定をし、関係機関とも連携をしながら適切な方向性を示している。今後も適正な就学に努めたい。				
外部評価委員のコメント	本町においては、障害のある幼児、児童及び生徒に対する教育の推進並びに就学の支援はかなり充実しており、今後とも個々の発達に応じた適切な指導を維持・推進して頂きたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	2-2-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	多様化する町民のニーズに応え、自発的に学習できる体制の充実を図り、様々な学習機会を通じて人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させて地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
教室の開催数(公民館学習・放課後子ども教室・理科大好き教室等) 年間に開催した教室の数	回	300	300	300	300	300
		270				
教室への参加人数 年間の教室への参加人数	人	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
		7,500				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会教育総務事業	生涯教育課	62,222	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	6,030	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	1,916	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		81,639			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 指標の目標は概ね達成しており、開催内容等を精査して魅力のある教室等にすることで、今後、目標の達成はは可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 今後、団塊世代の地域回帰が進むことにより、公民館での学習活動が活発に行われると思われる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 町民の生涯学習等に対するニーズは一層多様化しており、学習内容の充実を図って、町民だれもが自由に選択し学習できる教室等の開催が必要である。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 社会環境の変化に伴い、町民の学習ニーズが多様化しているため、現在の教室内容を精査し、新たな魅力ある公民館教室への移行を進める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	社会教育総務事業	62,222	54,713	3 普通	現状のまま
	生涯学習事業	11,471	17,840	3 普通	現状のまま
	青少年健全育成推進事業	6,030	9,628	3 普通	現状のまま
	人権教育指導事業	1,916	4,175	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	81,639	86,356		
内部評価のコメント	教育環境の変化の中で、社会教育の中核的な場として、また、地域住民の教育や交流の場として公民館の果たす役割がますます注目されている中で、生涯学習のあり方を考えていく必要がある。				
外部評価委員のコメント	多様化する町民のニーズを把握し、各種教室・講演会・地区別懇談会等のさまざまな学習の機会を提供するとともに、多くの参加者を募るための広報活動を活発化する必要がある。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実			総合計画位置づけ	2-2-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習意欲が向上する。
施策概要	生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、保守点検・清掃業務等は民間の専門業者・シルバー人材センター等に委託し管理している。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)	(目標/計画) (実績)
管理点検回数	回	310	310	310	310	310
年間の管理点検を実施した回数		310				
公民館貸館件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
年間の公民館貸館件数		2,750				
利用人数	人	55,000	55,000	56,000	57,000	57,000
年間の公民館利用人数		54,600				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
青垣生涯学習センター管理事業	生涯教育課	76,152	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		87,623			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 年間の公民館貸館件数及び利用人数は概ね達成しており、更に子ども教室の参加人数を増やすと共に啓発活動を行うことにより目標達成は可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 開館以来、町民の生涯学習の場として、多くの方々に利用されており、今後、更なる利用者の増が見込まれるので、施設環境等を損なわないように適切な維持管理を行う必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中で、取り替え時期・故障する機器等が多く出てくるので、出来るだけコストを抑える工夫を行い、施設の維持管理を行うこと。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 今後、施設等が老朽化していく中、できる限りコストを抑えて施設を良好な状態に保ちながら、便利で快適に利用できるように、維持管理等を行う。				
	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	青垣生涯学習センター管理事業	76,152	87,493	4 優先的に取り組む	現状のまま
	生涯学習事業	11,471	17,840	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	87,623	105,333		
内部評価のコメント	来館者・利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行い、コスト削減に努める必要がある。				
外部評価委員のコメント	青垣生涯学習センターは公民館と共に町民の生涯学習の場であり拠点である。町民が安全・快適に利用できる施設として整え、管理運営に際してはできるだけコストを削減し、より多くの町民が利用できるよう努められたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	2-2-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	町民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実をはかる。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等との連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講習会や広報活動を行い、利用の促進を図る。録音図書を作成、点字資料・大活字本の収集を行い、障害者サービスの充実を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
蔵書冊数	冊	168,100	179,000	184,000	189,000	194,000
(説明) 年度末の蔵書冊数		168,640				
貸出冊数	冊	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
(説明) 年間の個人・団体・相互総貸出冊数		574,436				
登録率	%	50	50	50	50	50
(説明) 町民の図書館利用カード登録率		49				

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館収集提供事業	図書館	20,069	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	23	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	2,513	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		22,605			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 蔵書冊数も貸出冊数も、最終目標値に達しているため、概ね順調に成果が上がっていると考えられる。町内在住者の登録を増やすため、今年は幼稚園をお願いして、図書館で園児作品の壁面展示を行ったため、通常は来館していない人が作品を観にやってきて、新規登録してもらったこともできた。引き続き、最終目標に向けて、利用者の利便性を高め、利用してもらえよう努力する。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 図書館は生涯学習の重要な拠点であり、住民の知的欲求を満たすことができる。図書館は無料で誰でも利用できる施設であるため、これからも住民の知る権利を保障し、知識を得たいという欲求を満たすためには、必要性が増していく施設だと思われる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 利用者のニーズが多種多様化しているため、図書の購入等においては敏感に反応していく必要がある。また、町民の実質利用率はまだまだ低調なため、様々な機会図書館をPRしていくことが重要である。また、図書システムが古くなっており、不具合等が発生し、利用者に不便をかけているため、システムを更新することが急務だと思われる。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 他の自治体の動向を見ながら、図書館システムの更新を目指す。 町民のニーズに応じ、魅力ある図書館づくりに努めて、蔵書の充実を図る。 他機関とも連携して、図書館のPRを行い、住民の利用を促す。 古事記編纂1300年目の事業を行う県や町の動きに対応するため古事記・日本書紀等の蔵書の充実を図る。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	図書館収集提供事業	20,069	17,905	5 最優先・緊急的	現状のまま
	子ども読書活動推進事業	23	83	3 普通	現状のまま
	図書館利用促進事業	0	0	3 普通	現状のまま
	図書館運営管理事業	2,513	1,673	3 普通	拡大
	[新規]				
	計	22,605	19,661		
内部評価のコメント	現状の修理等の状況を見ると、図書館システムの更新が特に急務と考えるので、利用者に不便をかけないよう速やかに更新を行う。 また、昨年度同様、財政状況を考慮しながら、利用者のニーズを見極め、本と利用者をつ結び付けられるよう図書館を運営していく必要がある。				
外部評価委員のコメント	町民の重要な学習の場として、その施設・設備並びにサービスの面など県内でも有数の図書館であると評価できる。利用者のニーズに対応した蔵書の充実をはかるとともにPR活動を行いさらなる実質利用率の向上に努められたい。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	2-2-4
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	文化芸術発展のため、子どもから大人まで参加出来る作品展示や芸能発表会の開催をする。また、地域の生涯学習の拠点である地域公民館のハード面での支援をする事により地域の文化発展に寄与する。
施策概要	毎年文化祭を開催する。地域公民館の新築・改修・修繕に対し補助金を交付する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
出展数	点	600	800	800	800	800
(説明) 文化祭の出展数		893				
来場者	人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
(説明) 文化祭の来場者数		3,000				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
生涯学習事業	生涯教育課	11,471	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		11,471			

3. 施策の分析

<p>達成度</p> <p>(目標の達成状況はどうか)</p>	<p>● A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている</p> <p>○ B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている</p> <p>○ C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい</p> <p>(説明)</p> <p>指標の目標は達成しており、開催内容を検討し魅力ある事業にすることで、今後、目標達成は可能だと思われる。</p>
<p>必要性</p> <p>(ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>● A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある</p> <p>○ B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない</p> <p>○ C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明)</p> <p>近年、心の豊かさや生きがい、生活の潤いなどが重視され、町民の文化、芸術への関心が高まっており、今後も町民のニーズに対応した多様な事業を展開する。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明)</p> <p>文化祭も軌道に乗ってきたところであるが、出品数が多数あるため展示スペースの工夫が必要である。また、ホールでの自主事業開催のあり方や住民への周知の方法を工夫することが課題である。</p>

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

<p>施策の方向性</p>	<p>[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>																																																																										
	<p>(説明)</p> <p>文化活動については、より一層の充実を図る必要があるが、自主事業については、安価で観客動員が見込める内容を検討して、町民の方々への周知を徹底する。</p>																																																																										
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="276 1153 368 1234">事務事業名</th> <th data-bbox="826 1153 948 1234">H22年度 決算 (単位:千円)</th> <th data-bbox="948 1153 1069 1234">H23年度 予算 (単位:千円)</th> <th data-bbox="1069 1153 1238 1234">優先性</th> <th data-bbox="1238 1153 1473 1234">H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="276 1234 368 1272">生涯学習事業</td> <td data-bbox="826 1234 948 1272">11,471</td> <td data-bbox="948 1234 1069 1272">17,840</td> <td data-bbox="1069 1234 1238 1272">3 普通</td> <td data-bbox="1238 1234 1473 1272">現状のまま</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td data-bbox="276 1653 368 1691">[新規]</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 1691 368 1749" style="text-align: right;">計</td> <td data-bbox="826 1691 948 1749">11,471</td> <td data-bbox="948 1691 1069 1749">17,840</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	生涯学習事業	11,471	17,840	3 普通	現状のまま																																																			[新規]					計	11,471	17,840						
事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																							
生涯学習事業	11,471	17,840	3 普通	現状のまま																																																																							
[新規]																																																																											
計	11,471	17,840																																																																									
<p>内部評価のコメント</p>	<p>様々な文化活動に、子どもから大人まで気軽に参加できるように、創意工夫をしていく必要がある。</p>																																																																										
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>対費用効果を考慮しながらも、町民がより質の高い芸術や文化に触れる機会を設け、生活の潤いを高めるための運営も必要と考えられる。</p>																																																																										

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	2-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	町民の健康増進や体力向上を目指すために、スポーツ施設の環境整備を促進する。
施策概要	町民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
施設見回り回数	回	200	200	200	200	200
(説明) 施設の年間見回り回数		185				
施設整備日数	回	150	150	150	150	150
(説明) 年間整備回数		150				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	31,864	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		31,864			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 各体育館(アリーナのワックス掛け、テニスコート、健民運動場)施設の点検等の維持管理ができた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 町民の余暇時間の増大やスポーツに対する意識の高揚、又、新しいレクリエーションスポーツの増加に伴い、それに対応した施設の整備が必要となる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 健康増進のため高齢者のスポーツ人口の増加と共に、スポーツ活動に関わる町民のニーズが多様化している中で、スポーツ施設の充実が必要となる。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	(説明) 地域における「ひとづくり」「まちづくり」に繋がるスポーツ活動を推進するため、スポーツ施設等の環境整備を行う。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	体育施設管理事業	31,864	28,641	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	31,864	28,641		
内部評価のコメント	地域密着型スポーツの普及を図るため、自然を生かした幅広いスポーツ施設の充実を図る必要がある。				
外部評価委員のコメント	町民が安全にスポーツに親しみ、スポーツを通して健康の増進を図り、親睦の輪を広げられるよう常に施設の見回り点検を強化しスポーツ活動にかかわる町民のニーズの多様化に対応した施設設備の整備が必要である。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	2-3-3
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす 成果目的	住民だれもが気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、活動機会の充実を図る。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や各種競技大会を開催する。また、だれもが参加できるニュースポーツの集いや歩こう会等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及・啓発を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
スポーツ教室	回	250	250	250	250	250
(説明) テニス・ソフトテニス・ジュニア サッカー・バドミントン・卓球		210				
スポーツ大会参加人数	人	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
(説明) 春季・秋季総合競技大会・マラ ソン・駅伝大会等に参加した		4,650				
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	7,628	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地が あるが時間が必要
計		7,628			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) スポーツ活動の普及・啓発等により、指標目標は概ね達成しており、指導者の確保に努めることにより今後も目標達成は可能だと思われる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 参加者・利用者数は、ここ数年あまり変化はないが、社会情勢の変化に伴い町民のニーズが多様化しており、また少子高齢化がすすんでいる現在、現状のままでは減少傾向になるとと思われる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 参加者・利用者が固定化傾向にあるので、新たな参加者をどのようにして増やしていくかが課題である。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 少子高齢化社会が進んでおり、また参加者・利用者が固定化傾向にならないようにスポーツ推進委員によりニュースポーツの講習会を開催してだれもが参加できるスポーツの普及に努める。				
内部評価のコメント	スポーツがひとづくり、まちづくりに果たす役割は非常に大きなものがあり、住民意識を的確に把握し、変化に応じたスポーツ振興施策への転換が必要である。				
外部評価委員のコメント	多様な年齢層が気軽に参加できるよう各種スポーツ教室の開設及び競技大会の開催等スポーツ振興策の策定・実施が望まれる。				
[新規]					
計		7,628	9,590		
事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	
社会体育振興事業	7,628	9,590	4 優先的に取り組む	現状のまま	

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	生涯スポーツの推進	総合計画位置づけ	2-3-3
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	-

1. 施策概要

めざす成果目的	町民が生涯にわたり、健康で充実した生活が送れるように、また自主的・継続的にスポーツ活動ができるように生涯スポーツを推進する。
施策概要	町民のスポーツに対する関心が高まっている中、多様なニーズに対応できるように、今後も各種競技大会(野球・ソフトボール・剣道・バレーボール)19競技等を更に充実させるとともに、指導者の育成にも取り組む。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
研修会の開催数	回	2	2	2	2	2
(説明) 指導者の育成研修		1				
(説明)						
(説明)						

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	7,628	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
社会体育総務事業	生涯教育課	11,282	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		18,910			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 町民のスポーツ参加意欲の高揚を図り、ニュースポーツの集いの開催により子どもから高齢者まで広く交流の場が得られた。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 社会環境の変化に伴い、町民の健康やスポーツに対する興味・関心が高まり、日常生活において、ニュースポーツの普及により子どもから高齢者まで自発的にスポーツに取り組む機会が多くなるとされる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) スポーツ競技者の固定化、個人の多様化する考え方などにより、指導者育成が難しい。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	(複数選択可) <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	(説明) 新しいレクリエーションスポーツ等に対応できる若い指導者の育成にも取り組む。				
	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	社会体育振興事業	7,628	9,590	3 普通	現状のまま
	社会体育総務事業	11,282	11,685	3 普通	現状のまま
	[新規]				
	計	18,910	21,275		
内部評価のコメント	多くの人がスポーツに親しむため、年齢や性別、クラブ所属に関係なく、誰もが自由に選択できる多種多様なスポーツ教室等が必要である。				
外部評価委員のコメント	町民のスポーツに対する関心が高まっているなか多岐にわたる指導者の育成が必要である。				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	文化財の保存整備体制の充実	総合計画位置づけ	2-4-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	文化財を将来にわたって、保存・管理し、文化財情報を発信できる状態にする。
施策概要	発掘調査された出土品や写真・図面資料等を整理し、出土品の内容を一般公開していく。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
遺物再整理の進捗率	%	25	30	35	40	45
(説明)収蔵する遺物の資料データ化進捗率		25	—	—	—	—
資料の登録点数	点	200	200	200	200	200
(説明)展覧会用・書籍掲載用に貸出できる状態になった遺物点数		418	—	—	—	—
資料の貸出点数	点	200	200	200	200	200
(説明)展覧会用に貸出した遺物点数や書籍掲載用に貸出した写真点数		298	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	7,729	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
遺跡発掘調査事業	文化財保存課	2,635	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
遺跡発掘調査受託事業	文化財保存課	791	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
町事業発掘調査事業(費用は各事業課)	文化財保存課	3,549	A:高い(義務)	C:目標とする成果が得られなかった	C:見直す余地がない
計		14,704			

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input checked="" type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい</p> <p>(説明)年間の発掘調査による文化財の保管量増加数は減少傾向にあり、過去の調査分の再整理事業も緊急雇用事業により着実に進捗している。ただし、緊急雇用対策事業はH23年度までで、H24年度以降は事業規模が縮小することとなる。一方、平成24年度には史跡整備関連の発掘調査で相当量の遺物出土が予想されるほか、大規模店舗開発に伴う発掘調査も予定されるため、目標達成には大きな課題となる可能性が高い。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明)発掘調査等による成果が充実し、情報発信されることによって、貸出点数は増加すると思われる。しかし、年間登載できる点数には限りがあり、また、ニーズが多様化することによって規定外の文化財の登載も今後、予想される。さらに、町主導の企業誘致の関係で今後大規模開発への対応が急務となることが予想される。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明)文化財には、様々な状態・大きさのものがあり、一定の収納・管理が困難である。また、奈良県立橿原考古学研究所に一時預かりの遺物の返却も要請されており、収蔵棟の確保が課題である。遺物の貸出については、本課主体でなく定例業務的に事業を進めることができないのが課題である。また、これまでの未報告資料は1977年からの遺物があり、これらの整理・報告書作成をどのように進めるか未知数のところがある。</p>

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

<p>施策の方向性</p>	<p>[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>(説明)発掘調査により、保管する遺物は必須であり、それを整理報告する義務を負っている。したがって、出土したもの全てが整理の対象であるが、予算・人員・期間に限りがあるので十分な効果の上がる整理方針を模索していく。また、整理された遺物については、活用できるような周知の方法を検討していく。</p>																																																																							
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>H22年度 決算 (単位:千円)</th> <th>H23年度 予算 (単位:千円)</th> <th>優先性</th> <th>H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財保護事業</td> <td>7,729</td> <td>9,871</td> <td>4 優先的に取り組む</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>遺跡発掘調査事業</td> <td>2,635</td> <td>6,322</td> <td>4 優先的に取り組む</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>遺跡発掘調査受託事業</td> <td>791</td> <td>5,000</td> <td>4 優先的に取り組む</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>町事業発掘調査事業(費用は各事業課)</td> <td>3,549</td> <td>2,200</td> <td>4 優先的に取り組む</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td>—</td> <td>—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>—</td> <td>—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,704</td> <td>23,393</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	文化財保護事業	7,729	9,871	4 優先的に取り組む	拡大	遺跡発掘調査事業	2,635	6,322	4 優先的に取り組む	拡大	遺跡発掘調査受託事業	791	5,000	4 優先的に取り組む	拡大	町事業発掘調査事業(費用は各事業課)	3,549	2,200	4 優先的に取り組む	拡大																															【新規】	—	—		—		—	—		—	計	14,704	23,393			
事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																				
文化財保護事業	7,729	9,871	4 優先的に取り組む	拡大																																																																				
遺跡発掘調査事業	2,635	6,322	4 優先的に取り組む	拡大																																																																				
遺跡発掘調査受託事業	791	5,000	4 優先的に取り組む	拡大																																																																				
町事業発掘調査事業(費用は各事業課)	3,549	2,200	4 優先的に取り組む	拡大																																																																				
【新規】	—	—		—																																																																				
	—	—		—																																																																				
計	14,704	23,393																																																																						
<p>内部評価のコメント</p>	<p>文化財資料の整理・管理は、町文化財の根幹をなす事業であることから、継続的に進めていく。</p>																																																																							
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>唐古・鍵遺跡をはじめとする文化財の調査とそれらの整備・保存・活用は本町の重要な事業のひとつである。その事業を確実に推進できる方策について検討していく必要がある。</p>																																																																							

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	歴史遺産の活用			総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名	—

1. 施策概要

めざす 成果目的	唐古・鍵考古学ミュージアムにおいて、発掘調査の成果やミュージアムの収蔵品、町内の文化財等を紹介する展覧会を開催し、より多くの人に田原本町の歴史遺産を知っていただく。
施策概要	ミュージアムを開館し、常設展を観覧できるようにする。また、平城遷都1300年記念事業関連で、秋季企画展を通常より長い44日間開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
常設展来館者数	人	7,000	6,500	6,000	6,000	6,000
		(説明)常設展示を観覧した人数	7,468	—	—	—
企画展来館者数	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
		(説明)企画展に入館した人数	1,307	—	—	—
(説明)			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	6,143	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		6,143			

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p> <input checked="" type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい </p> <p>博物館は、開館以降入館者数が減少する傾向があり、リピーターを確保することは困難である。しかし、H22.1からの平城遷都1300年祭の影響等もあり、常設展の目標数値は達成できた。企画展に関しては、秋季のみ開催であったため、目標数値は達成できていない。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p> <input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある </p> <p>(説明)文化財に対するニーズは、今後、団塊世代の余暇が増加することから教養として求められるようになると思われ、多様なニーズに応えられる展示・研究成果の発表が要求される。また、ニーズの有無に関わらず、文化財の啓発は必要である。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明)ミュージアムの存在について、周知できていない部分もあり、また、来館してもらう仕掛けをどのようにおこなうかが課題である。また、町所有文化財をより多く展示できるよう工夫する必要がある。企画展は、他機関と開催時期が重なる為、折り込み紙や雑誌等PR媒体で掲載されないことがある。</p>

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

<p>施策の方向性</p>	<p>[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>(説明)ミュージアムに来館してもらう動機づけができるような方法を検討する。HPや広報等によりPRする。</p>				
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<p>事務事業名</p>	<p>H22年度 決算 (単位:千円)</p>	<p>H23年度 予算 (単位:千円)</p>	<p>優先性</p>	<p>H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</p>
	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	6,143	5,934	3 普通	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	6,143	5,934		
<p>内部評価のコメント</p>	<p>企画展の開催は町の文化財を知る重要な要素であることから、継続的に開催し、情報発信していく必要がある。</p>				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>住民が町の歴史遺産について理解と関心を高め、生涯学習の場としてより一層活用できるよう唐古・鍵考古学ミュージアムの企画展の開催や展示の仕方にさらなる工夫が必要である。</p>				

施策評価シート(対象:H22年度実施施策)

施策名	郷土愛・文化財愛護精神の育成	総合計画位置づけ	2-4-3
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	青少年や町民が、文化財の知識を深めるとともに身近にある文化財に対して愛護精神を高め、郷土愛が育成されたまちになっている。
施策概要	考古学実践講座や体験学習の場を提供するとともに、学校とも連携をとり、それを支援するボランティア組織と文化財活用を図る。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H22年度	前期基本計画目標 H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
講座・体験学習等参加人数 <small>(説明)考古学講座・体験学習・小学校総合学習等参加人数</small>	人	600	600	600	600	600
		1,416	—	—	—	—
ボランティア活動人数 <small>(説明)ミュージアムガイド、体験学習ボランティア等、参加延べ人数</small>	人	1,000	1,000	800	800	800
		753	—	—	—	—
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H22年度)

事務事業名	担当課名	H22年度事業費 (決算額 単位:千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業(文化財保存課	6,143	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		6,143			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H24)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H24)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H24)達成が難しい (説明) 小学校の総合的な学習の時間における体験学習は、ボランティアのサポート体制が整い、軌道に乗っている。また、ボランティア活動は、ミュージアムガイドや体験学習の用具準備等の支援体制が整ってきている。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある (説明) 町内各小学校が、総合的な学習の時間を利用し体験学習メニューを要望される。ミュージアムで募集する体験学習や講座については、ばらつきがある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 体験学習等のメニューは一定段階に達し、支援するボランティアを含め、ノウハウは整備されつつあるが、今後、ボランティアの高齢化の問題等もあり、人材育成が課題である。

4. 次年度の展開方針(部としての判断)

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 () (説明) 学校等で実施される体験学習を充実させていく。そのため、ボランティア育成にも支援する。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H22年度 決算 (単位:千円)	H23年度 予算 (単位:千円)	優先性	H24に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業(の一部)	6,143	5,934	3 普通	現状のまま
【新規】		—	—		—
	計	6,143	5,934		
内部評価のコメント	文化財愛護精神の育成は、目にみえた形で表すことが困難であるが、小学校での体験学習は有効性が高いと思われ、ボランティア組織とともに取り組む必要がある。				
外部評価委員のコメント	考古学実践講座や体験学習への児童・生徒の参加など学校教育と連携し、幼少時から文化財にかかわり、郷土を知り郷土を愛する精神の育成が重要である。				